

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2019年8月）議事録

日時：2019年8月30日（金）午後5時30分～7時35分

場所：八重洲倶楽部 第2・3会議室

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

西平賀昭、永富良一各副理事長、

碓井外幸常務理事、宇高 潤、大野 誠、

勝村俊仁、栗原 敏、後藤勝正、坂本静男、

須田和裕、須永美歌子、武政 徹、竹森 重、

田中喜代次、成田和穂、宮川俊平、

和気秀文各理事、清田 寛、小林康孝各監事、

徳田修司第75回大会長、

加藤 公第76回大会長候補

欠席者：小野寺昇、川原 貴、下光輝一、田畑 泉、

浜岡隆文、前田清司各理事、

井上 茂、定本朋子各監事

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会終了時まで訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

#### 2. 令和元年度庶務報告に関する件について

（武政総務委員長）

資料に基づき、令和元年度庶務について報告がなされた。

2019年7月31日現在、正会員数は4073名、評議員は537名（内医師84名、非医師453名）、新入会員323名、退会者426名、103名減少（内自然退会237名）であることが報告された。また、2年以上会費未納者リストが提示され、2年以上会費未納者については第74回茨城大会を期限として、自然退会とすることが承認された。リストに含まれている会員で声掛けできる場合は、会費納入の催促をして欲しいとの依頼がなされた。

#### 3. 令和元年度会計報告（決算）に関する件について

（宮川財務委員長）

資料に基づき、令和元年度決算について報告がなされた。

収入の部 会費収入が37,574,000円（内正会員35,450,000円）で、栗原理事からの寄付金100万円が計上されていると報告された。収入合計は81,696,256円となった。

支出の部 国内外交流費の100万のオーバーは栗原理事からの100万円の寄付金をFAOPSの支援にあてたこと、それ以外については予算とはほぼ同額に落ち着き、支出合計は79,006,152円となった。当年度収支差額は2,690,104円の黒字決算であった。

本決算については公認会計士のチェックと監事の監査が行われた事が併せて報告された。

#### 4. 令和元年度事業報告に関する件について

（武政総務委員長）

資料に基づき、令和元年度事業報告について報告さ

れた。審議の結果、承認され、9月の社員総会に諮ることになった。

#### 5. 令和2年度会計報告（予算）に関する件について（宮川財務委員長）

資料に基づき、令和2年度予算について報告がなされた。

収入の部 現在の会員数に基づき会費納入率実績87%として試算し、正会員会費は35,260,000円、会費収入全体は37,440,000円で計上した。収入合計は98,138,800円である。

支出の部 選挙積立金預金繰入は、4年に1度の選挙になったこともあり、75万円から30万円に減額した。支出合計は99,184,800円であり、当年度収支差額は-1,046,000円である。

鈴木理事長より、平成20年からの正味財産額および会員数の推移の資料が提出された。会員数は10年前に比べ1,000人の減少があった。1億近い財産があるので、次期理事会において、高齢者の健康問題や生活習慣病の最上流にある肥満の問題等に特化したプロジェクトチームを発足し、本学会で研究発表されたものを中心に体系化する活動を学術委員会を中心に行う予定であるとの報告がなされた。

#### 6. 評議員推薦に関する件（大野評議員選考委員長）

資料に基づき、評議員選考委員会において候補者13名に対しての審査を行い、1名の候補者（研究業績が不足）を除いた候補者12名が評議員選考条件を満たした旨の報告があり、2019年度評議員候補者として12名（内、女性2名）を評議員に推薦することが承認された。また、内規を読まずに推薦して来られる方が見受けられたので、評議員申請書の改定作業を行う予定である。

理事会より、評議員推薦のハードルが高くなっているので、条件の緩和を検討してほしいと依頼された。

#### 7. 次期各種委員会への申し送り事項の提出について（鈴木理事長）

資料に基づき、役員および各種委員会の任期は次回社員総会で任期満了となるので、業務引き継ぎに伴う資料を各委員会に提出して頂きたい旨報告された。編集委員会だけは業務の切れ目が無いため、次期編集委員長に後藤勝正理事、副編集委員長に和気秀文理事および前田清司理事にお願いしたい旨打診され、理事会で承認後、後藤、和気理事から承諾を得た。前田理事は欠席の為、後日就任の可否を尋ねることになった。

#### 8. 次期理事長推薦理事候補者について（鈴木理事長）

役員選挙で選ばれた理事以外の理事候補者について、須永美歌子現理事を今期に引き続き社員総会に推薦したいと提案があり、承認された。

#### 9. 協賛会社の特典について（鈴木理事長）

7月14日にウイスマーという会社の“酸化ストレスに関する講演”があり、その場で本学会の賛助会員に

ならないかと打診したことが報告された。賛助会員としての特典が明文化されていないので、総務委員会で検討して再度審議することとした。

#### 10. 森本武利名誉会員追悼文執筆者の選定について (鈴木理事長)

森本武利名誉会員追悼文執筆者について検討がなされ、信州大学の能勢博先生に依頼することが承認された。

#### 11. 佐々木隆名誉会員追悼文執筆者の選定について (鈴木理事長)

佐々木隆名誉会員追悼文執筆者について検討がなされ、広島文化学園大学の山崎昌廣先生に依頼することが承認された。

#### 12. その他

##### ・FAOPS2019のお礼(鈴木理事長)

FAOPS2019の鍋倉淳一大会長より、学会にお礼が言いたいとの申し出があり、9月18日の理事会時にお越しいただくこととした。

##### ・学会賞取り下げの件(鈴木理事長)

前回の理事会で受理された学会賞論文取り下げに付随した学会賞副賞60万円の返却について、審議された。この件に関連弁護士に相談した処、体力科学に掲載された学会賞論文を取り下げたのであるから、それに付随した副賞60万円も返却するのが筋である、との回答があったことが報告された。これに関しては大半の理事が当然返却を求めるべきであるとの意見であった。これに基づき、理事長名で正式に筆頭著者に対して学会賞の取り下げが決定した事、それに伴い、副賞の返金を求める文書を送ることが承認された。学会HP上には、「何年度の学会賞は取り消されました」と一文アナウンスをし、時間が経ったらこのアナウンス自体も消去することとした。

#### 【報告事項】

#### 1. 日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について(碓井称号委員長)

資料に基づき、日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について報告がなされた。

日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者24名の氏名リストが掲示され、承認された(内、終身称号者は5名)。

#### 2. 第30回スポーツ医学研修会修了試験結果について (碓井学術委員長, 須永スポーツ医学研修会委員)

資料に基づき、第30回スポーツ医学研修会修了試験結果について報告がなされた。

研修会を受講した参加者15名が8月4日に修了試験(試験問題50問)を受け、2名当日欠席、1名が不合格で残りの12名が合格した旨と試験の概要について報告がなされ、承認された。また、スポーツ医学研修会基礎コースと応用コースについて、アンケートの結果満足度が高かったこと、来年も日本体育大学で開催することが報告された。但し、研修会の会場使用料に関しては、日本体育大学の要望も聴きながら、中里浩一

委員長とさらに検討する必要がある事が強調された。

#### 3. 役員改選結果報告(鈴木理事長)

資料に基づき、役員選挙結果について理事長に鈴木政登現理事長、副理事長に碓井外幸現常務理事と西平賀昭現副理事長、常務理事に武政徹現理事が当選されたことが報告された。また、副理事長については第1副理事長に投票数の多かった碓井外幸現常務理事、第2副理事長に西平賀昭現副理事長が選出されたことを新理事会で提案する予定であることが報告された。

#### 4. 各種委員会報告

##### ・総務委員会(武政委員長)

資料に基づき、委員会報告がなされた。

1) シニア会員新設による会員数減少の抑止

2) 理事長・副理事長・常務理事選挙の不在者投票の検討

3) オンライン名簿継続の可否

##### ・編集委員会(田中委員長, 後藤副委員長)

資料に基づき、委員会報告がなされた。

◎学会誌出版(学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開)

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFISM)」

Vol. 7のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 8のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 67のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 68のNo. 1, No. 2, No. 3

※電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施

◎JPFISM掲載論文リストのメール配信

◎投稿規定追記(2018.9.8)

「JPFISM」

Correctionの掲載料を追記

Ethics/Conflicts of Interest (COI) の記載例を追記  
「体力科学」

地方会抄録の掲載料を追記

倫理・利益相反の記載例を追記

◎JPFISMオリジナルWebsiteの運用, Online Firstの掲載

◎ジャーナルの活性化対策の検討

「特集号」の掲載・企画

注目されているhot topicに焦点を当てた「特集号」を掲載

「JPFISM」Vol. 7, No. 4

第1回特集: Aging and Skeletal Muscle Atrophy  
4編掲載

「体力科学」Vol. 67, No. 5

第2回特集: エネルギー代謝 6編掲載

「JPFISM」Vol. 8, No. 5

第2回特集: Exercise in hypertension

6編掲載予定

「体力科学」Vol. 68, No. 5

第3回特集: 介護予防を考える 6編掲載予定

◎プライバシーポリシーを公開

◎海外Editor 選定の準備

◎第9回アジア・オセアニア生理学会連合2019年大会 (The 9th Federation of Asian and Oceanian Physiological Societies Congress: FAOPS2019) でのJPFMSおよび体力科学の展示

・学術委員会 (碓井委員長)

資料に基づき、委員会報告がなされた。

学会の予算削減措置の一環としてプロジェクト研究の公募が取り止めになった現在、学術委員会としてはスポーツ医学研修会と「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」をいかに魅力あるものにして、多くの受講希望者を惹きつけるかが課題である。スポーツ医学研修会委員会が参加者からの声を聴きながら毎回様々な試みを打ち出してきているが、いまだ参加者数が低迷を続けているのが現状であると報告された。

・渉外委員会 (永富委員長)

資料に基づき、委員会報告がなされた。

◎国際交流事業

1) アジアオセアニア生理学会学術集会  
FAOPS2019 2019.3.28-3.31

JSPFMS Special Talk

小平奈緒 (相澤病院)・結城匡啓 (信州大学)

2) ECSS

①2019 Prague 2019.7.3-6

ECSS-JSPFMS Exchange Symposium "Lactate/Pyruvate Metabolism in Skeletal Muscle: Energy Substrates and Beyond"

シンポジスト: 北岡 祐 (神奈川大学), 星野太佑 (電気通信大学), 橋本健志 (立命館大学)

②2020 Seville 2020.7.1-3

ECSS-JSPFMS Exchange Symposium "Muscle Relaxation in Sports"

シンポジスト: 加藤考基 (南山大学), 大高千明 (奈良女子大学), Vogt, Tobias (ケルン体育大学: 座長)

3) 第74回日本体力医学会大会 (つくば) における国際交流事業

ECSS 2018 Young Investigators Award Winnersの招聘

4) 国際学術交流奨励賞 受賞者16名

5) 2020横浜スポーツ学術会議 (2020.9.8-12) のシンポジウム企画

([http://yokohama2020.jp/jp/index\\_jp.html](http://yokohama2020.jp/jp/index_jp.html))

6) 他の国際学会との連携

①FIMS (国際スポーツ医学会) 2018.9.12-14  
Rio de Janeiro

②AFSM (アジアスポーツ医学会)

③IBRO (International Brain Research Organization) 2019

Satellite for International Sport Neuroscience Conference 2019.9.18-19

(<http://ibro2019.org/index.php?gt=pro/pro07>)

④ACSS (Asian College of Sports Science 仮称) 準備委員会への参加依頼 (2019.3月)

設立時参加国 (予定): China, Singapore, Malaysia, Hong Kong, Chinese Taipei, Thailand, Vietnam and Japan

◎国内関連学術団体との交流・連携

1) 脳心血管病予防に関する包括的管理チャート2019の改訂

2) 国内学会との連携

①第97回日本生理学会大会 (2020) 他学会連携シンポジウム

②日本体力医学会/日本肥満学会/日本サルコペニア・フレイル学会合同シンポジウム (第74回日本体力医学会 つくば大会)

3) 日本スポーツ協会: 日本体力医学会における講演・シンポジウム参加による日本スポーツ協会認定スポーツドクターの単位認定 (第74回大会から)

◎日本体力医学会の活動の国内外に対する見える化

1) 広報委員会と連携

・倫理委員会 (成田委員長)

資料に基づき、委員会報告がなされた。

◎「診療放射線技師法違反容疑」に関する調査委員会の設置、調査活動および報告書の作成

◎「会員の懲戒に関する規程」の制定

・広報委員会 (須永委員長)

資料に基づき、委員会報告がなされた。

現行サイトは、前々広報委員長の武政先生を中心に2013年6月にリニューアル (2014年7月に英語版追加)。現行サイトになって6年経過したため、次期委員会でリニューアルが必要かもしれない。

・利益相反委員会 (永富委員長)

資料に基づき、委員会報告がなされた。

倫理委員会と協力して、学会においてヒトを対象とする医学研究に対する倫理的な配慮、研究倫理および利益相反に関するチュートリアルを定期的に開催することを検討。

・全国地方会実行委員会 (竹森委員長)

資料に基づき、委員会報告がなされた。

非会員非招聘演者の地方会大会抄録の体力科学誌掲載料を含む、地方会と本部の間の資金の流れを整理する方式を定め、運用上の問題点を改善した。

5. 第74回 (茨城) 大会の進捗状況 (田中大会長)

配布資料に基づき、以下の状況であることが報告された。

会 期: 2019年9月19日 (木)~21日 (土)

会 場: つくば国際会議場

テーマ: 元気な人と社会を育むスポーツ医科学の挑戦 一般演題

口頭発表: 338演題

ポスター発表: 489演題

英語口頭発表: 6演題

合計: 833演題

演題登録された方で年会費未納の方がいれば督促を行う。

6. 第75回 (鹿児島) 大会の進捗状況 (徳田大会長)

配布資料に基づき、大会の準備状況等について順調

に進められている旨、報告された。

会 期：2020年9月24日(木)～26日(土)

会 場：鹿児島大学（共通教育センター，稲盛会館）

テーマ：チェストいけ！日本体力医学会

－健康長寿を支える体力医学の未来－

南九州地方会を共催という形にしてもいいか提案がされたが、前例も無いため見送られた。

## 7. 第76回（三重）大会の進捗状況（加藤大会長候補）

配布資料に基づき、大会の準備状況等について報告された。

会 期：2021年9月17日(金)～19日(日)

会 場：三重県総合文化センター

## 8. その他

- ・大会長講演原稿の誤り

（田中編集委員長，後藤編集副委員長）

第73回大会長の戎先生より、体力科学68巻1号に掲載されている大会長講演の原稿が、運営者のライトスタッフの手違いにより、予稿集に掲載した原稿（英文）を再度編集事務局に送付してしまい、本来掲載されなければならない大会長講演の原稿

（和文）が掲載されていなかったと報告された。要望としてはライトスタッフから戎大会長への謝罪文と正しい原稿の掲載を求められたが、謝罪文の掲載はせず、正しい原稿は次号に掲載し、また今回の経験を機に、再発防止策を編集委員会で検討することとした。

- ・大会時の書籍販売について（田中第74回大会長）

第74回大会長の田中先生より、大会期間中に設ける書籍販売のブースで書籍販売会社の儲けがほとんどないということが報告され、書籍販売に限ってブース出展料を免除することは可能かどうかを検討された。他の企業も同じように出展料を支払っているため、書籍販売に限定した特例は認められないとの結論になった。

- ・「医師・コメディカルのためのメディカルフィットネス」の刊行について

（田中学術刊行物小委員長，碓井学術委員長）

田中学術刊行物小委員長より、9月10日頃に「医師・コメディカルのためのメディカルフィットネス」が刊行予定である旨報告があり、碓井学術委員長より、現役員、次期役員に献本し、第74回茨城大会でデスクに置いて販売を予定していると報告された。